

「GOOD DESIGN AWARD 神戸展」にご協力いただく 2018年度グッドデザイン賞審査委員のご紹介



伊藤 香織 ITO Kaori

都市研究者 | 東京理科大学 教授
東京生まれ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。東京大学空間情報科学研究センター助手を経て、現在東京理科大学教授。専門は、都市空間の解析及びデザイン。特に公共空間と都市生活の関わり方に着目する。2002年より東京ピクニッククラブを共同主宰し、国内外の都市で公共空間の創造的利用促進プロジェクトを実施する。『シビックプライド』『シビックプライド2 国内編』（宣伝会議）を出版。



岩佐 十良 IWASA Toru

クリエイティブディレクター | 株式会社自遊人 代表取締役
東京都出身。武蔵野美術大学在学中の1989年にデザイン会社を創業し、のちに編集者に転身。2000年、雑誌『自遊人』を創刊。2004年には拠点を東京から新潟・南魚沼に移転。そのライフスタイルが注目され「情熱大陸」などに出演。2014年、新潟県大沢山温泉にオープンした「里山十帖」では、空間から食まで全てをディレクション。グッドデザインBEST100に選出される。



齋藤 精一 SAITO Seiichi

クリエイティブ／テクニカルディレクター | 株式会社ライゾマティクス 代表取締役社長
1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学び、2000年からNYで活動を開始。その後、フリーランスのクリエイティブとして活躍後2006年にライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマースの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。現在、株式会社ライゾマティクス代表取締役社長。



柴田 文江 SHIBATA Fumie

プロダクトデザイナー | 有限会社デザインスタジオエス 代表、武蔵野美術大学 教授
武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒業後、株式会社東芝を経て、有限会社デザインスタジオエスを設立。エレクトロニクス商品から日用雑貨、医療機器、ホテルのトータルディレクションまで、インダストリアルデザインを軸に幅広い領域で活動をしている。毎日デザイン賞、グッドデザイン金賞など多数受賞。

「GOOD DESIGN AWARD 神戸展」にご協力いただく 2018年度グッドデザイン賞審査委員のご紹介



鈴木 啓太 SUZUKI Keita

プロダクトデザイナー | PRODUCT DESIGN CENTER 代表取締役
1982年愛知県生。多摩美術大学プロダクトデザイン専攻卒。2012年デザインオフィス「PRODUCT DESIGN CENTER」ブランド「THE」設立。醤油差しから電車まで幅広くデザインを手掛ける。2015年『サンテイエヌ国際デザインビエンナーレ（フランス）』招待作家。2016年『HUBLLOT DESIGN PRIZE 2016（スイス）』ファイナリスト（アジア人初）。



服部 滋樹 HATTORI Shigeki

デザイナー/クリエイティブディレクター | graf 代表、京都造形芸術大学芸術学部 情報デザイン学科教授
1970年大阪生まれ。graf 代表、クリエイティブディレクター、デザイナー。美大で彫刻を学んだ後、インテリアショップ、デザイン会社勤務を経て、1998年にインテリアショップで出会った友人たちとgraf を立ち上げる。建築、インテリアなどに関わるデザインや、ブランディングディレクションなどを手掛け、近年では地域再生などの社会活動にもその能力を発揮している。京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科教授。



原田 祐馬 HARADA Yuma

アートディレクター/デザイナー | UMA /design farm 代表
UMA/design farm 代表、京都造形芸術大学空間演出デザイン学科客員教授。1979年大阪生まれ。大阪を拠点に文化や福祉、教育、地域に関わるプロジェクトを中心に「共に考え、共につくる」を大切に、対話と実験を繰り返すデザインを実践。グラフィック、書籍、空間、展覧会や企画開発などを通して、理念を可視化し新しい体験をつくりだすことを目指している。DESIGNEAST、小豆島・醬の郷+坂手港プロジェクトなどのディレクターを務める。



寶角 光伸 HOUZUMI Mitsunobu

プロダクトデザイナー | 有限会社寶角デザイン 代表取締役
京都市立芸術大学大学院修了。ミサワホーム株式会社本社設計部を経て、寶角デザイン設立。
日用品、産業機器、住宅設備、建築部材、公共家具、地場産業開発に携わる。
主な受賞、IF デザイン金賞、IDEA デザイン金賞、レッドドットデザイン賞、ジャーマンデザイン特別賞、グッドデザイン特別賞など。

参考 ユネスコ・デザイン都市／デザイン都市・神戸について

ユネスコ・デザイン都市とは

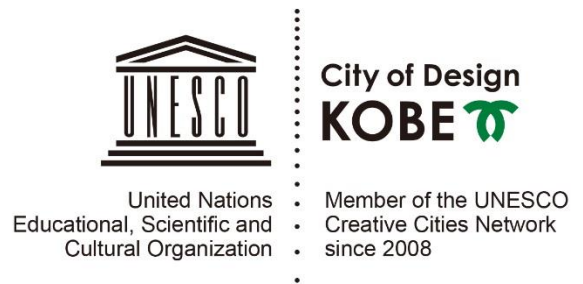
創造都市とは、文化産業の振興を通じ都市の活性化を目指しているまちを指します。ユネスコ創造都市ネットワーク（UNESCO Creative Cities Network = UCCN）は、“創造都市”の連携・相互交流を目的とした世界ネットワークです。

「文学」「映画」「音楽」「クラフト&フォークアート」「デザイン」「メディアアート」「食文化」の7つの分野ごとに、ユネスコ（国世界中の“創造都市”の連携・相互交流連教育科学文化機関）が認定。

神戸市は、2008年10月16日、「デザイン」分野で加盟認定されました。2017年10月に新たに64都市が認定され、現在180の都市（うちデザイン都市は31都市）が加盟しています。

デザイン都市・認定都市

ユネスコに認定されたデザイン都市は2018年時点で31都市あります。カナダのモントリオール（2006）、フランスのサンティエヌヌ（2010）、中国の北京(ペキン)（2012）、フィンランドのヘルシンキ（2014）などのほか、日本から神戸市と名古屋市（ともに2008）が認定されています。



デザイン都市・神戸のロゴマーク

デザイン都市・神戸

神戸市は2008年にアジアの都市として初めて、ユネスコ・創造都市ネットワーク「デザイン都市」に認定されました。これを機に海外の認定都市との国際的なネットワークを構築し、都市間連携・交流を促進していくことにより、「デザイン都市・神戸」の取り組みを世界に発信しています。